

2022年3月期 決算説明資料

株式会社ヴィス

東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード：5071

2022年5月13日

INDEX

01 会社概要 COMPANY PROFILE

02 2022年3月期 業績 FY2021 RESULTS

03 成長戦略 GROWTH STRATEGY

04 2023年3月期 業績予想 FY2022 OUTLOOK

05 参考資料 APPENDIX

01

会社概要

COMPANY PROFILE



商号

株式会社ヴィス

代表者

代表取締役社長 中村 勇人

設立年月日

1998年4月13日

本社所在地

大阪府大阪市北区梅田三丁目4番5号

資本金

522百万円 <2022年3月末現在>

決算期

3月末日

事業概要

**デザイナーズオフィス事業
VISビル事業**

発行済株式数

8,204,050株 <2022年3月末現在>

社員数

224名 <2022年3月末現在>

監査法人

有限責任あづさ監査法人

上場市場

東京証券取引所スタンダード市場

空間（環境）を変えることで、人が変わり、会社も変わる

空間（環境）を変えることで、人が変わり、会社も変わる。

大阪にある町工場との出会いがデザイナーズオフィス事業の始まりです。

はたらく環境を変えたことで、そこではたらく社員が変わり、会社がよくなっていくことを発見しました。

オフィスデザインに秘められた大きな可能性を知ったことが、事業を開始する契機となりました。

BEFORE



AFTER



同じベクトルを持った強力なメンバー

全 22 項目からなるクレド（社訓）を共有し、仕事に対しての向き合い方から物事の判断軸、人としてどうあるべきかまで全社員に浸透させています。
ヴィスメンバーとして同じ想いを共有し文化を醸成していく、
仲間と同じ考え方を持つことによる共感反応がシナジーを生み出します。



クレド…22 条からなる組織の価値観を決めるヴィスの礎。ヴィスが人を育てる仕組み

はたらく人々を幸せに。

ヴィスの仕事は、オフィスに笑顔を運ぶこと。

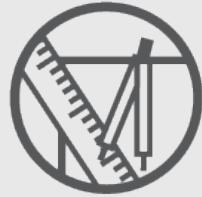
人生において多くの時間を過ごすオフィスという空間に変化をもたらし、はたらく人々を幸せにする。

そして、その一人ひとりの幸せが大きなモチベーションに変わり、企業が成長するエネルギーとなる。

これからも、日本全国および世界中で、はたらく人々がいるすべての場所に笑顔を運びます。



BRANDING



オフィスデザイン



ウェブデザイン



グラフィックデザイン



企業が持つ「想い」や「らしさ」をデザインすることで、CI（コーポレート・アイデンティティ）の確立と企業ブランディングの構築を実現します。

オフィスデザイン、ウェブデザイン、グラフィックデザインを通して、企業が持つVI（ビジュアル・アイデンティティ）と一貫したデザインをワンストップで提供することで企業価値を高めます。

OFFICE



オフィス物件検索



ワークプレイスサーベイ



レイアウト・デザイン



デザイン家具・什器



コンストラクション



ICT



引越し・移転作業



写真・ドローン撮影

WEB



デザイン制作



HTML・CSS 編集



スマホ対応



ウェブ動画

GRAPHIC



ロゴデザイン



パンフレット



名刺・封筒



ノベルティ・POP

CONSULTING



エンゲージメント向上・組織改善

はたらく一人ひとりの課題を
可視化する
組織改善サービス「ココエル」



ワークプレイスの可視化

ワークプレイス可視化レポート
「wit (ウィット)」



WORKSTYLING



はたらく場の提供

はたらき方をデザインするワークプレイス
「The Place (ザ プレイス)」を運営



02
2022年3月期 業績

FY 2021 RESULTS

売上高	10,727 百万円	前年 同期比	132.8%
営業利益	1,008 百万円	前年 同期比	193.2%

- 売上高：100億円突破（過去最高）
- 営業利益：10億円突破（過去最高）
- 受注高：110億円突破（過去最高）
- 大規模案件（1億円以上）の受注：14件 2,223百万円
- デザイナーズオフィス累計受注件数：7,000件突破

2022年3月期業績

前年同期、業績予想を大きく上回る

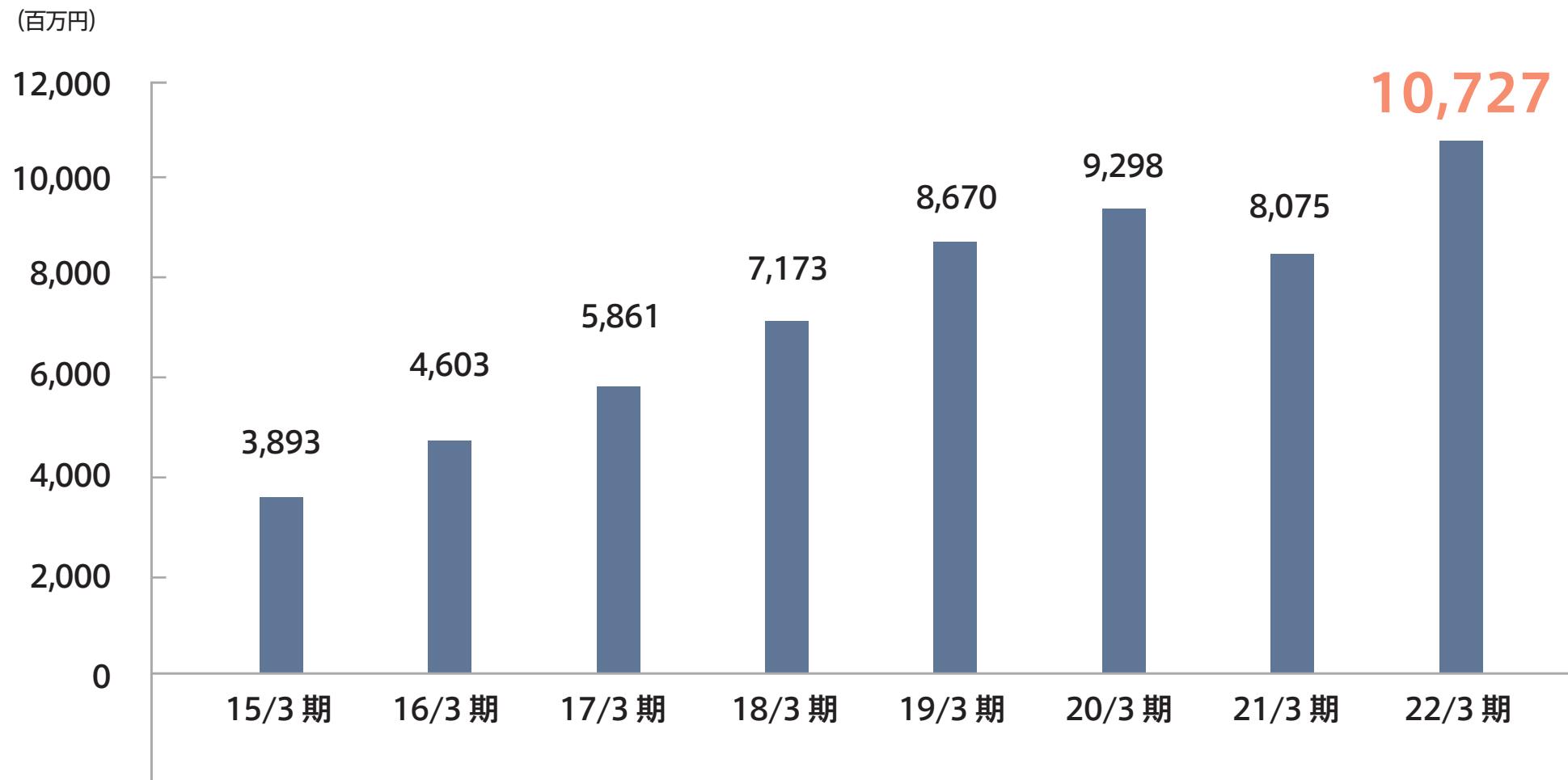
“アフターコロナ”に対応したオフィスデザインの需要増加、大規模案件(1億円以上)の受注・完工により売上高・営業利益ともに前年同期比で**大幅に増加**

(百万円)

	21/3期	22/3期	前年同期比	予想	予想比
売上高	8,075	10,727	132.8%	10,498	102.2%
売上総利益	2,142	2,850	133.0%	2,740	104.0%
営業利益	522	1,008	193.2%	590	119.0%
経常利益	510	1,012	198.4%	590	119.2%
当期純利益	331	687	207.5%	389	122.3%
EPS(円)	40.61	84.09	207.1%	68.52	122.7%
1株当たり配当(円)	8	17	212.5%	14	121.4%

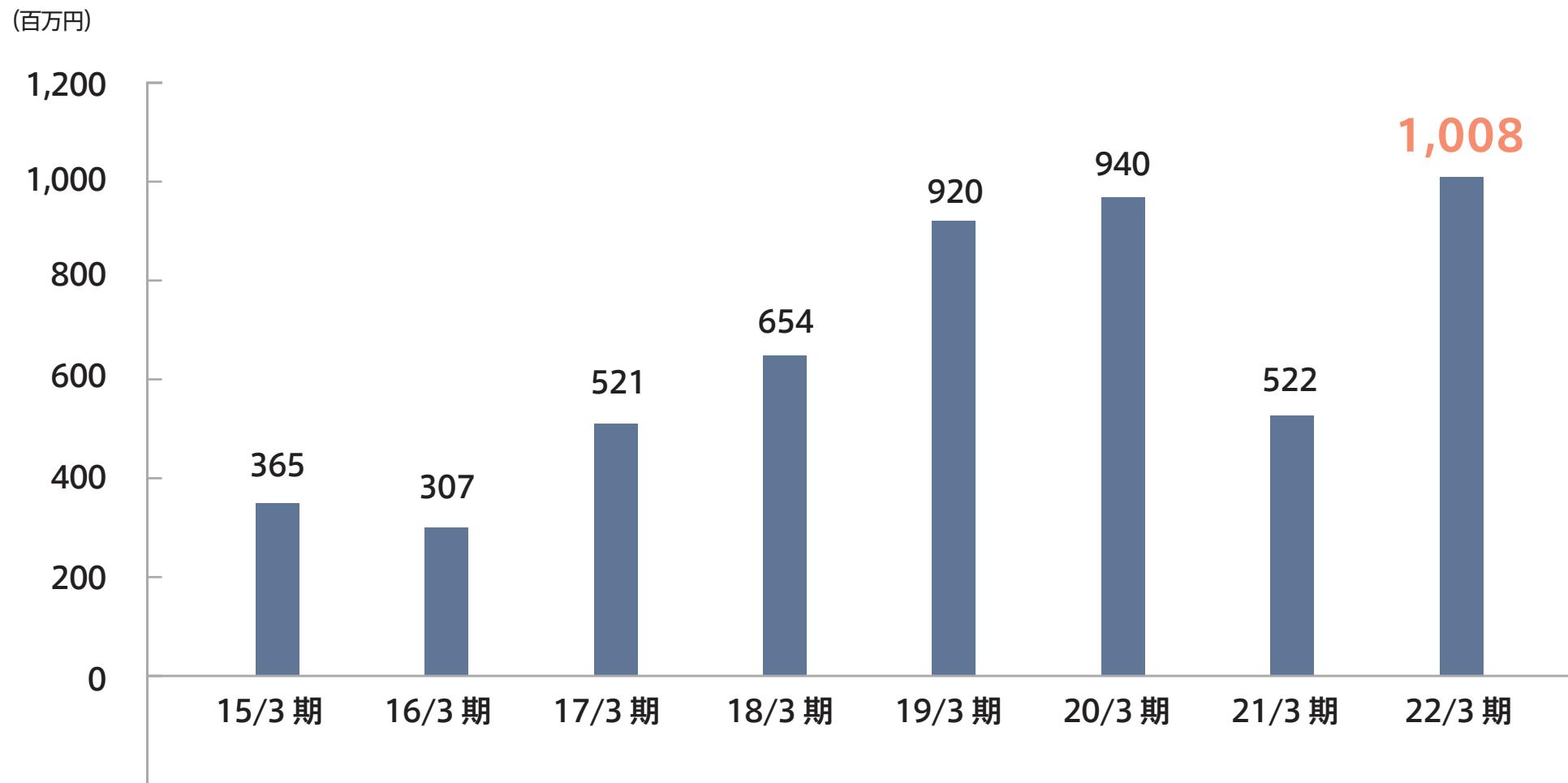
売上高推移（通期）

通期売上高は 100 億円を突破し、過去最高を更新



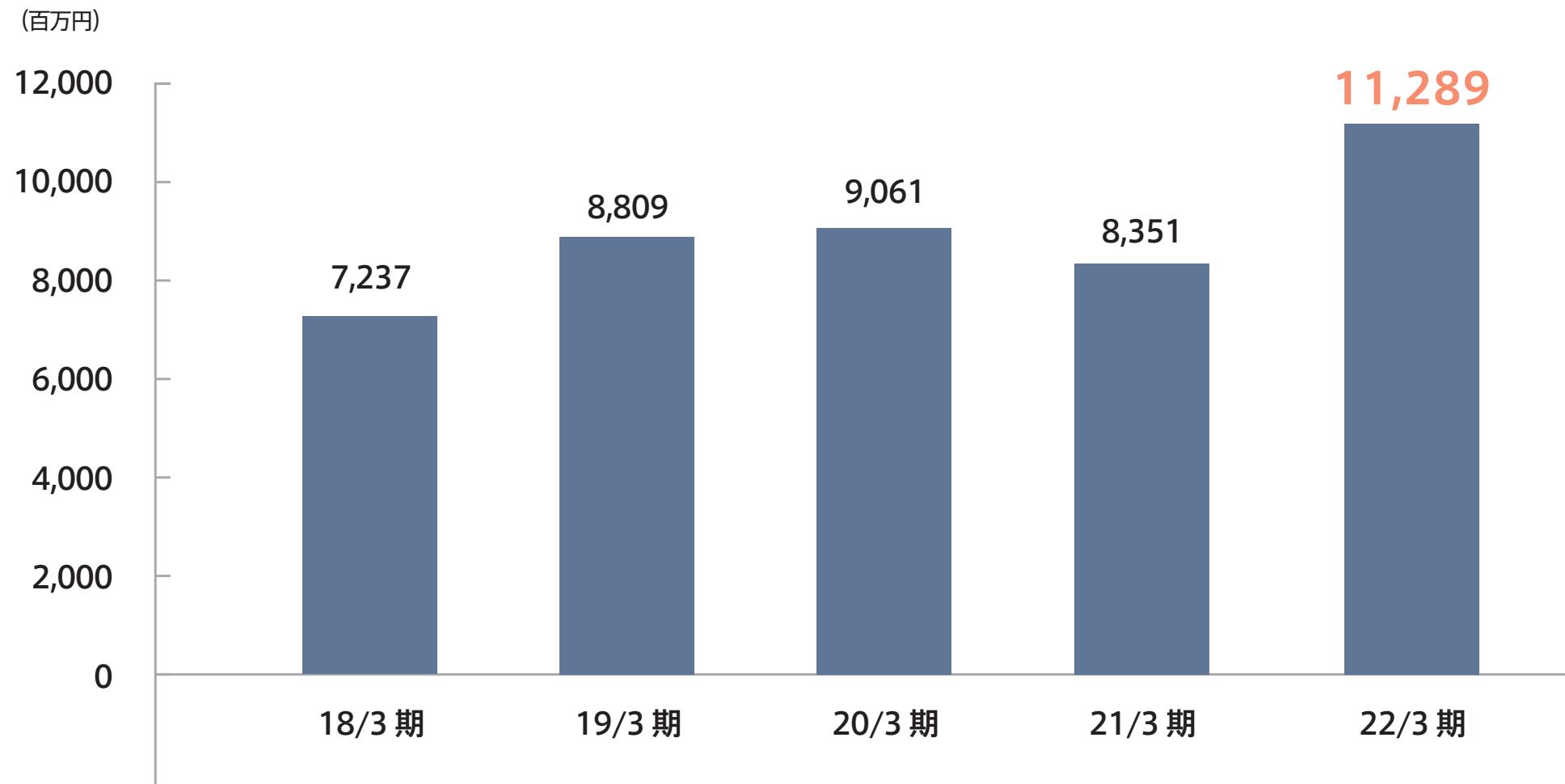
営業利益推移 (通期)

通期営業利益は10億円を突破し、過去最高を更新



受注高推移（通期）

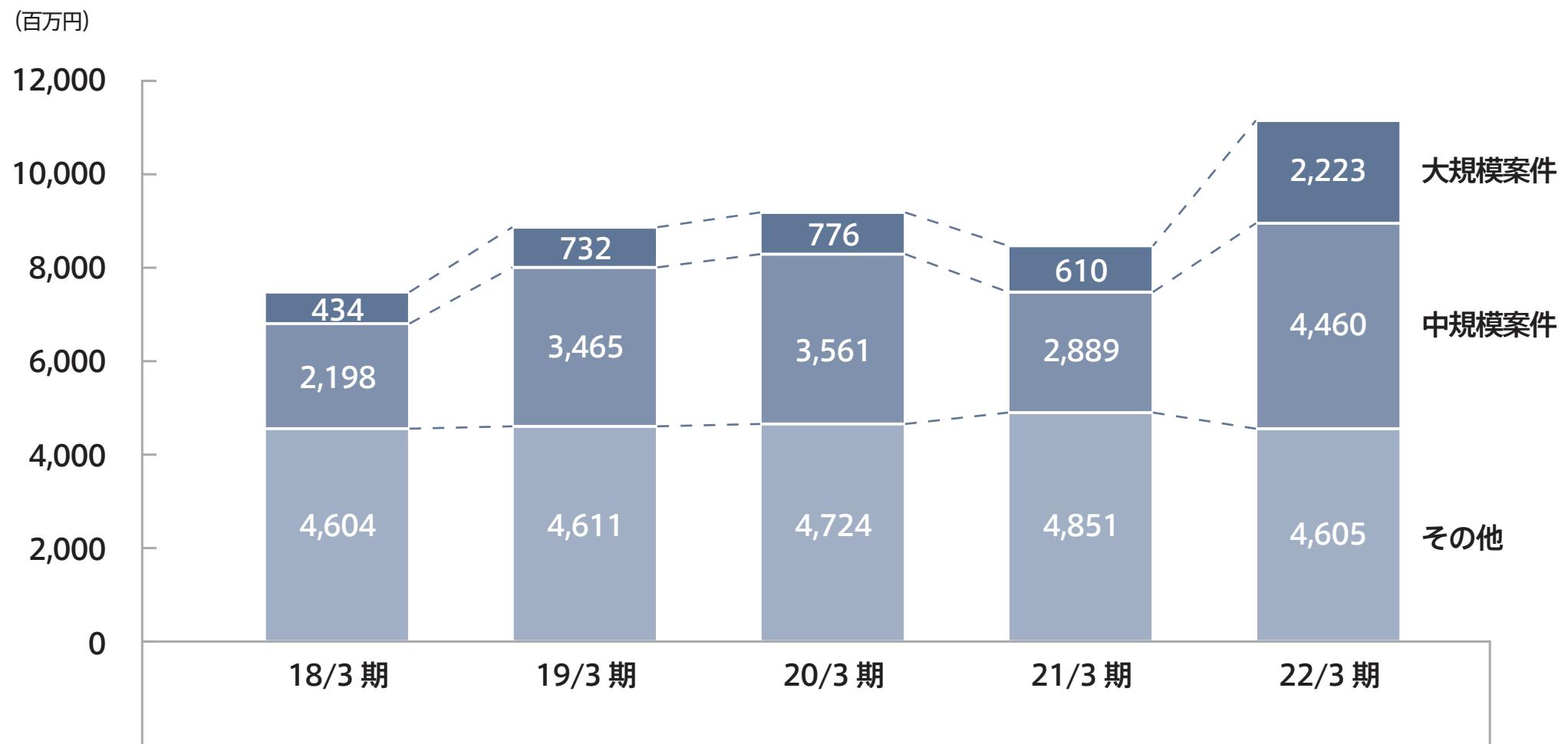
通期受注高は110億円を突破し、過去最高を更新



※受注高には、不動産の賃料収入を含めておりません。

受注高推移（受注規模別）

中規模～大規模案件の受注が大幅に増加

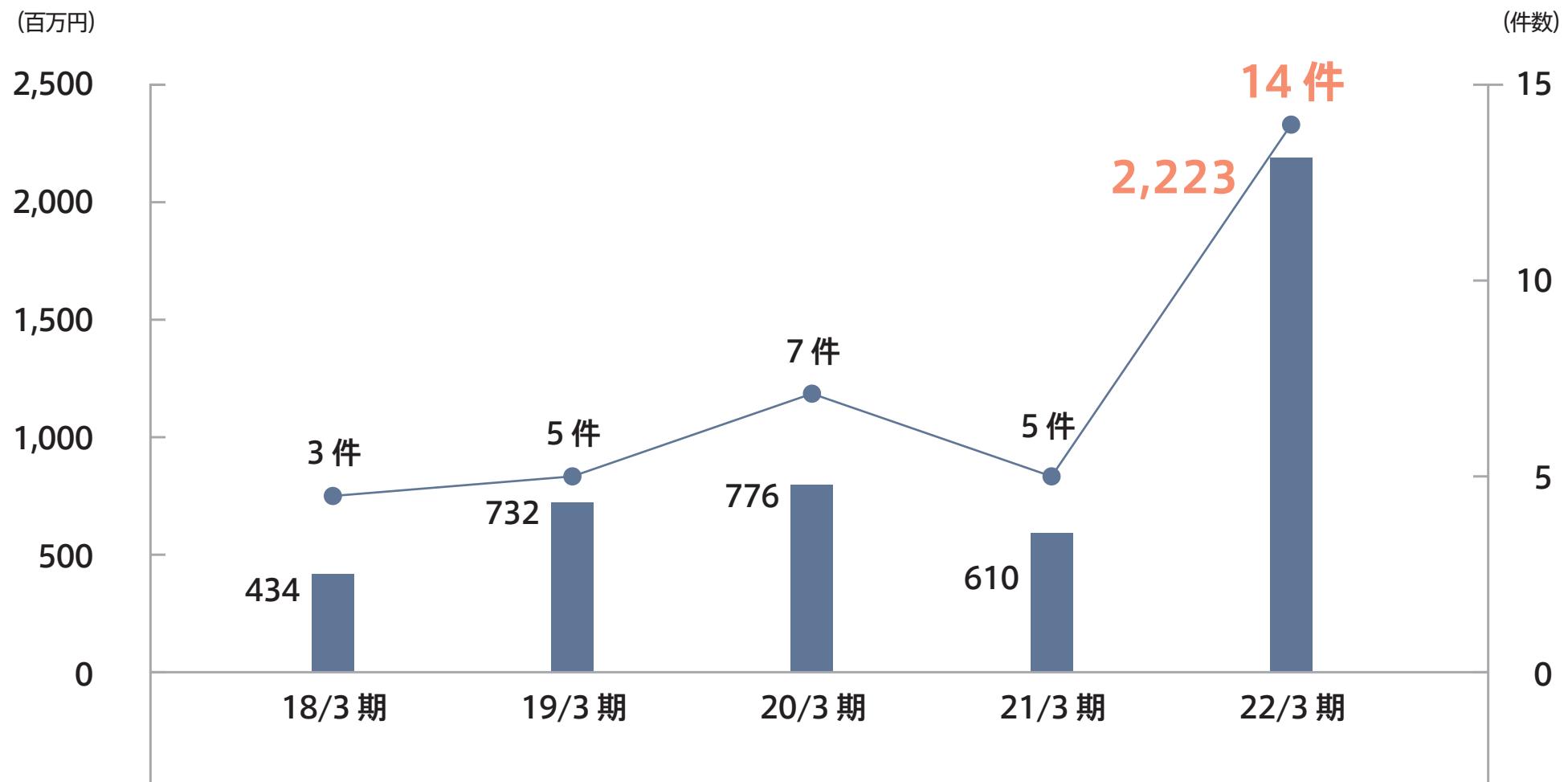


※受注高には、不動産の賃料収入を含めておりません。

※大規模案件は受注額が1億円以上、中規模案件は受注額が30百万円以上1億円未満のものを指します。

受注高推移（大規模案件）

受注件数・受注高ともに過去最高を更新

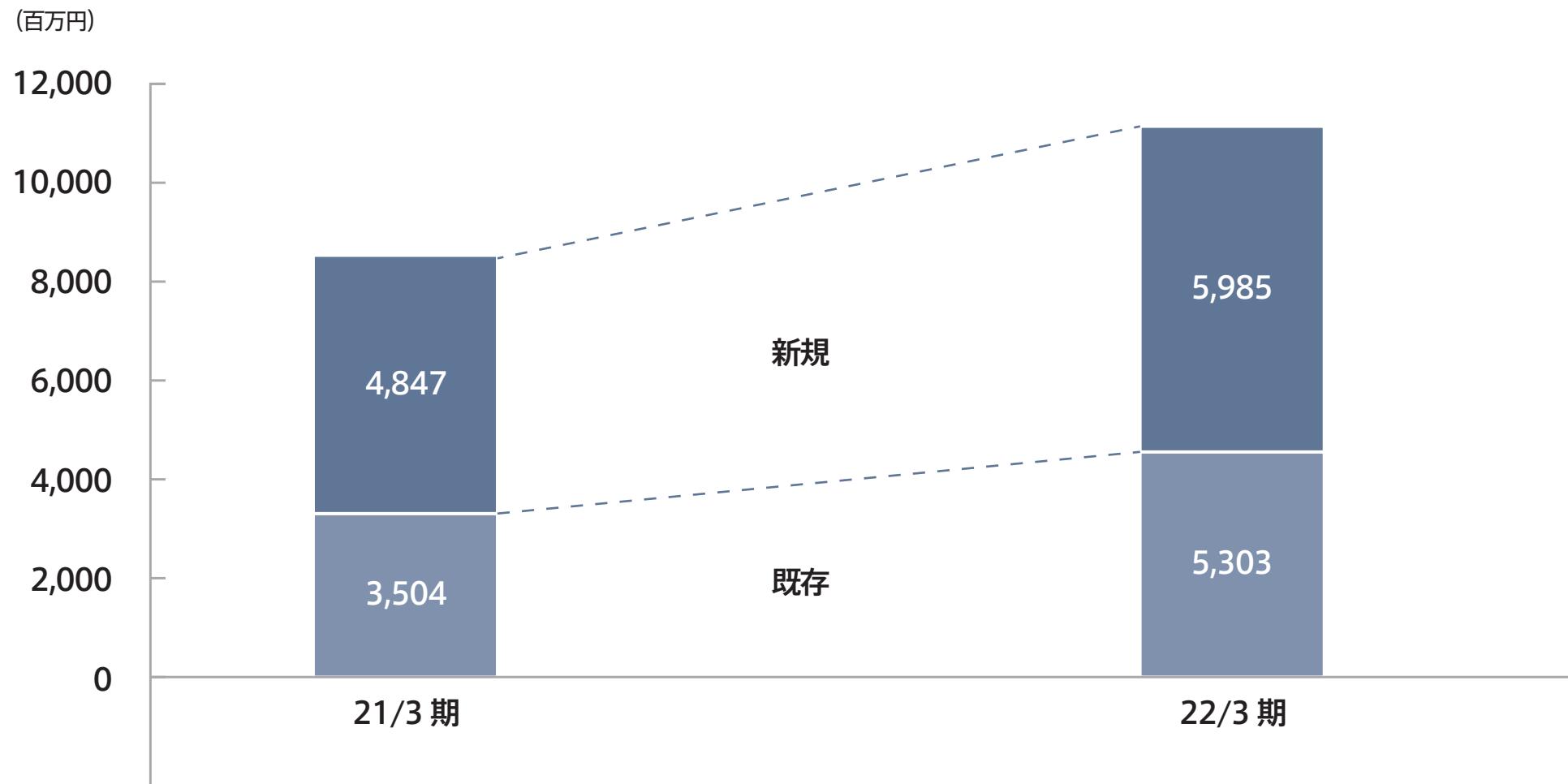


※受注高には、不動産の賃料収入を含めておりません。

※大規模案件は受注額が1億円以上のものを指します。

受注高推移（新規・既存別）

既存顧客からの受注は前年同期比 151.4%
新規顧客からの受注は前年同期比 123.5%

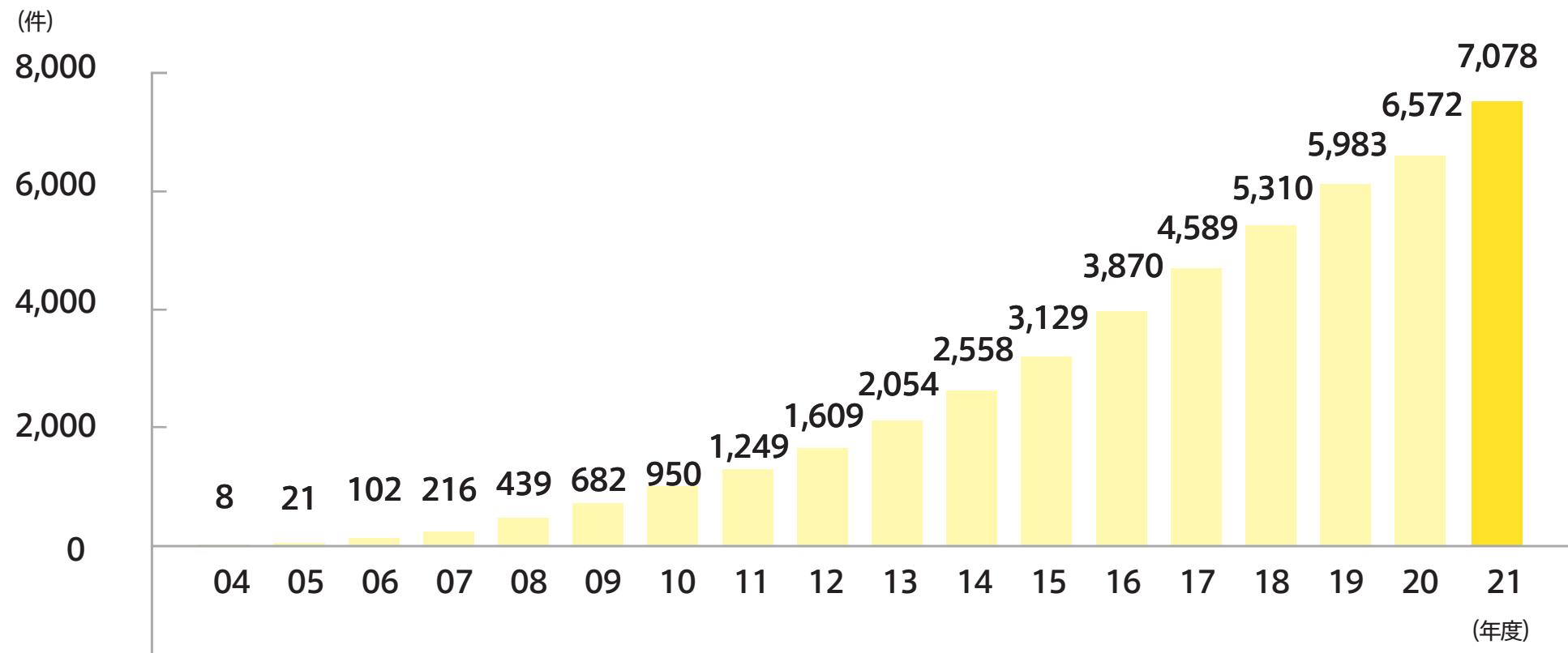


※受注高には、不動産の賃料収入を含めておりません。

デザイナーズオフィス累計受注件数

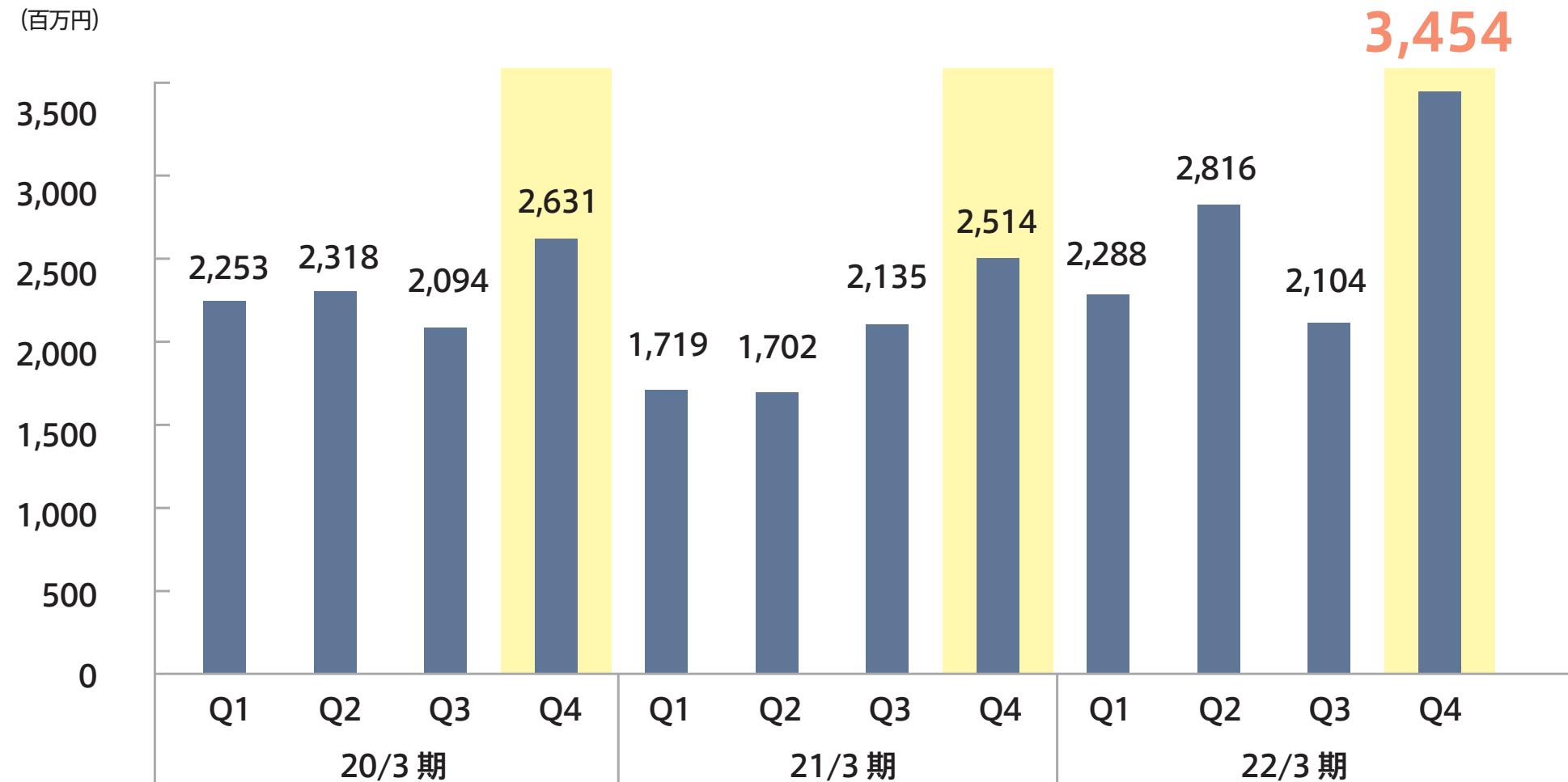
デザイナーズオフィス累計受注件数

2004年から開始したデザイナーズオフィスは累計受注件数 **7,000件を突破。**
案件の蓄積が新たな案件獲得へのアドバンテージにつながる。



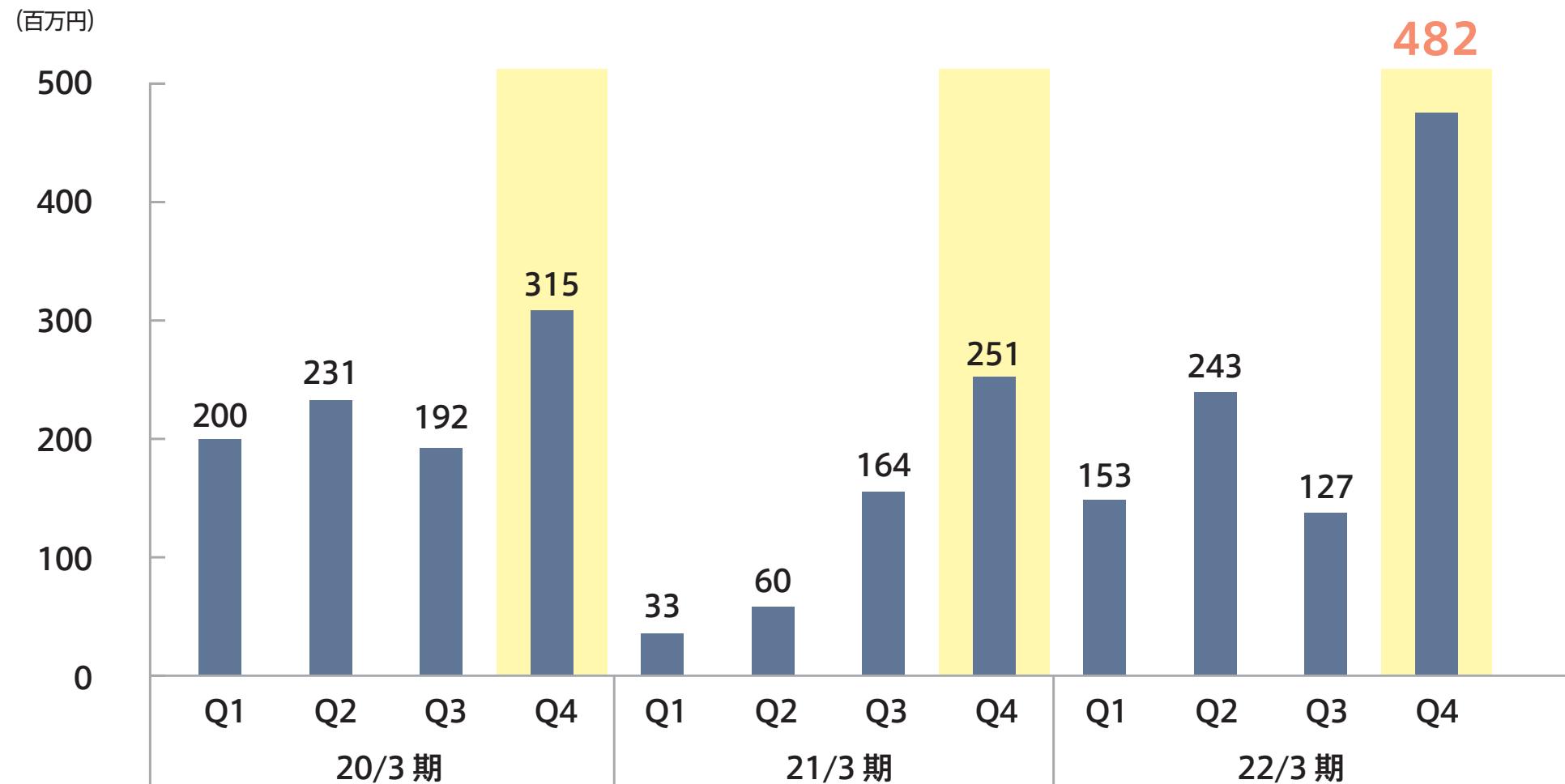
売上高推移（四半期）

四半期売上高(Q4)は30億円を突破し、過去最高を更新



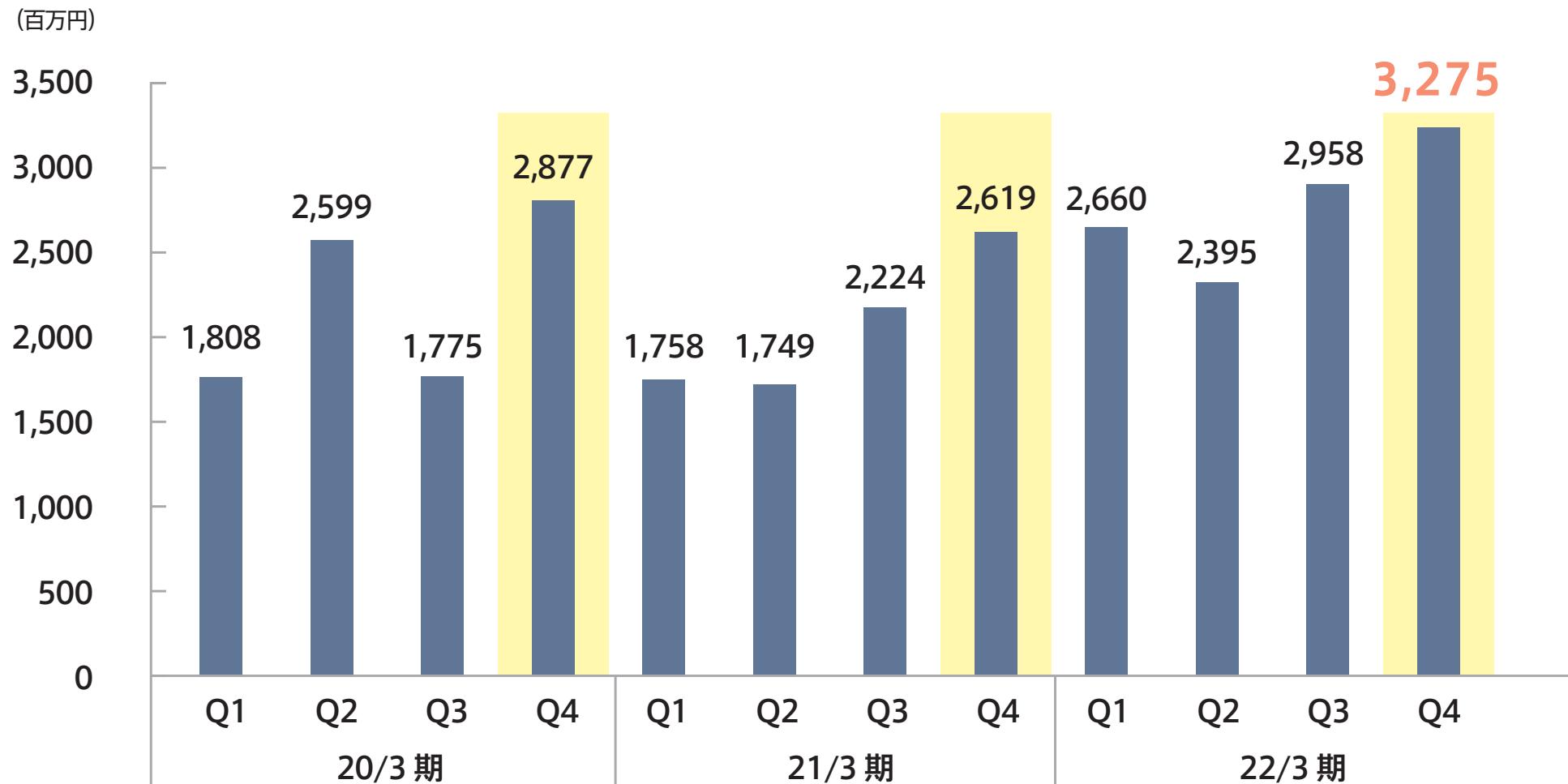
営業利益推移（四半期）

四半期営業利益(Q4)は4億円を突破し、過去最高を更新



受注高推移（四半期）

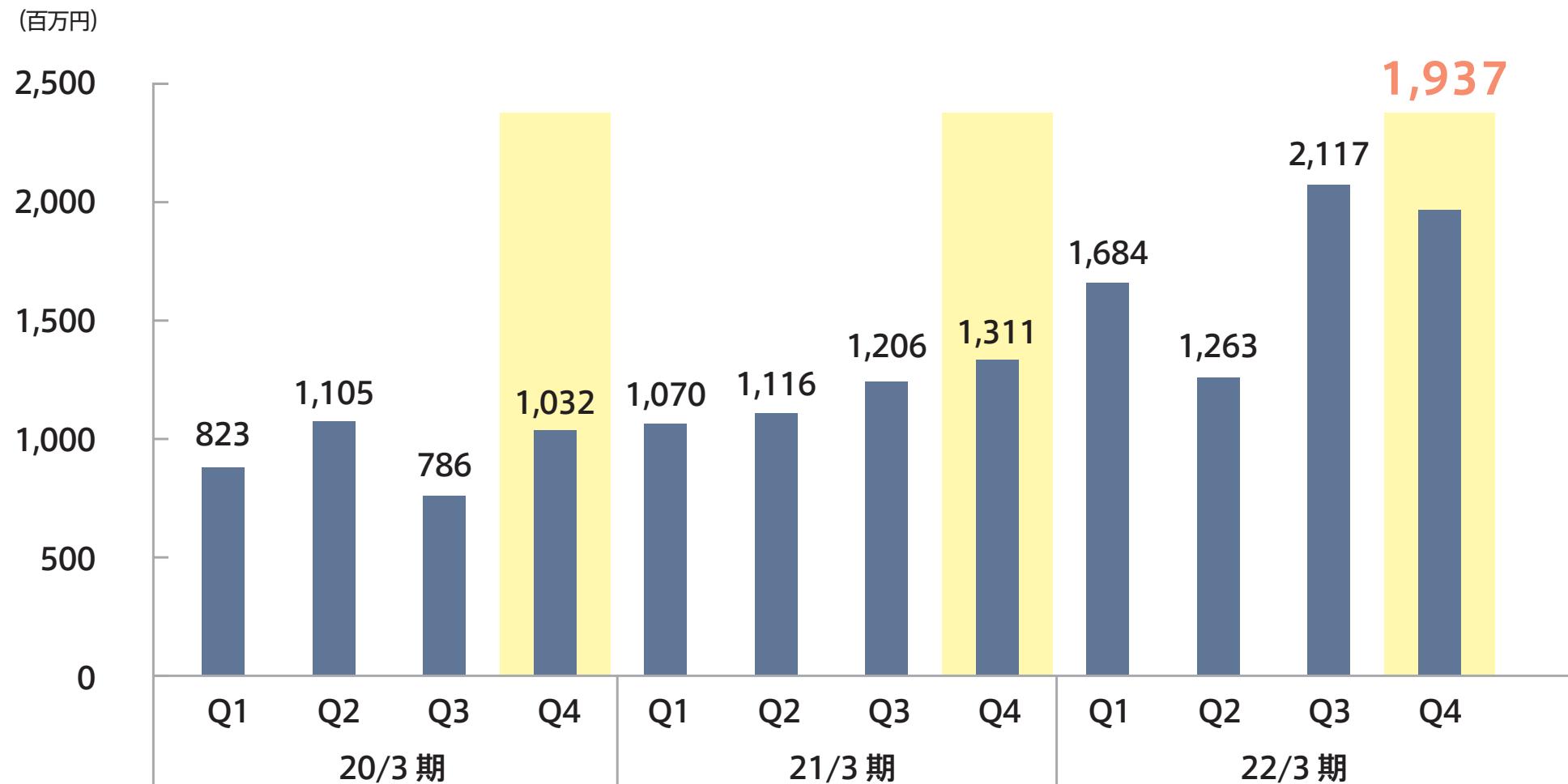
四半期受注高 (Q4) は 30 億円を突破し、過去最高を更新



(注) 受注高には、不動産の賃料収入を含めておりません。

受注残推移（四半期）

受注残は過去最高の 22/3 期 Q3 に次ぐ高い水準



※受注残には、不動産の賃料収入を含めておりません。

03

成長戦略

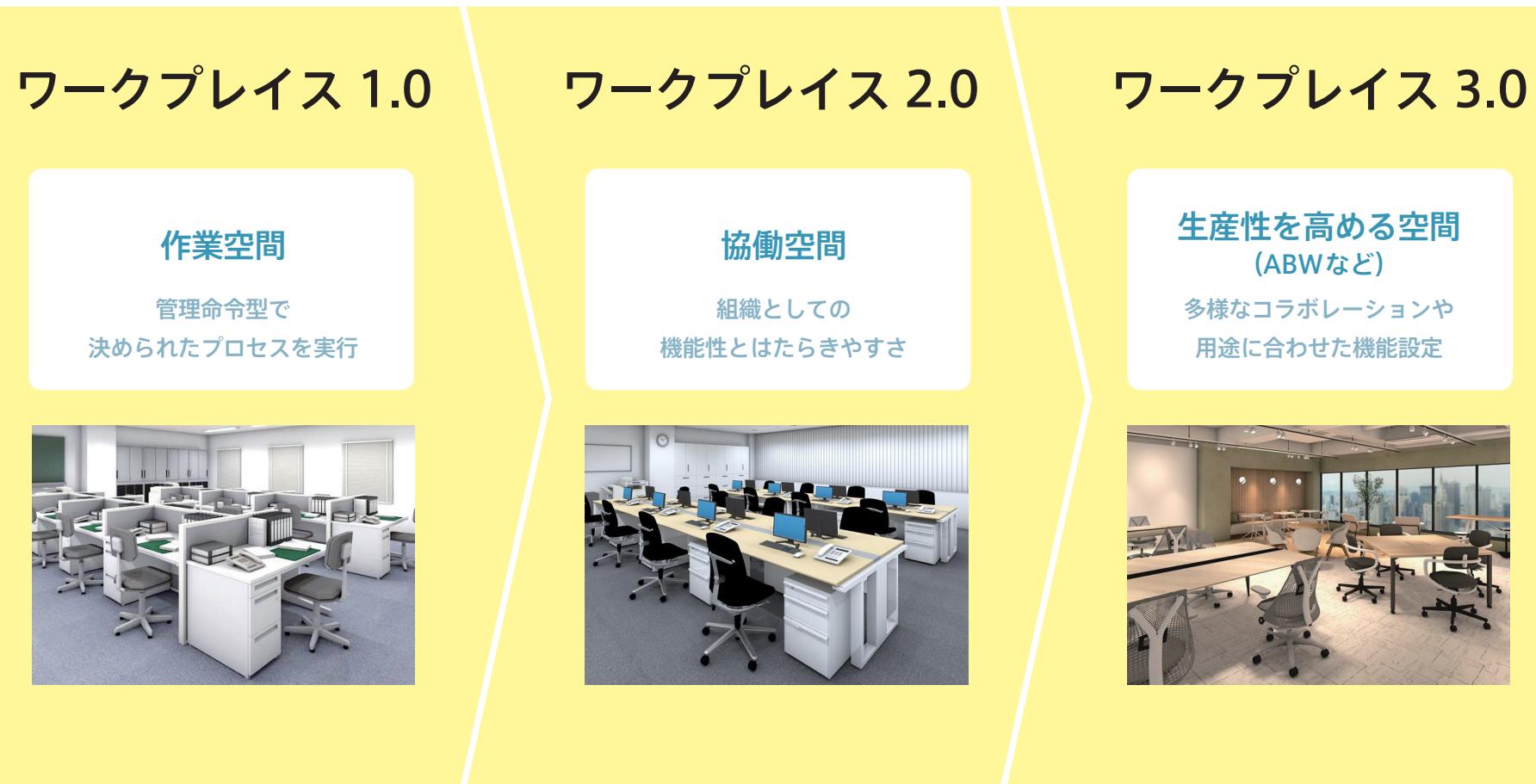
GROWTH STRATEGY

TOPICS

- 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からの
ビジネス領域の拡大
- コンサルティング領域の拡大
- ワークスタイリング領域の拡大
- マーケティングの強化
- 人材の採用・育成

社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

これまでのワークプレイス



ABW (Activity Based Working) … 時間や場所を自分で選ぶはたらき方

社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

ワークプレイス 4.0へ

業務効率の向上・企業文化やロイヤルティの醸成など、
ワークプレイスへのニーズが多様化

▶ 多様な価値観への対応
企業のあり方の表現

オフィスをどのようなデザインにしたいですか？

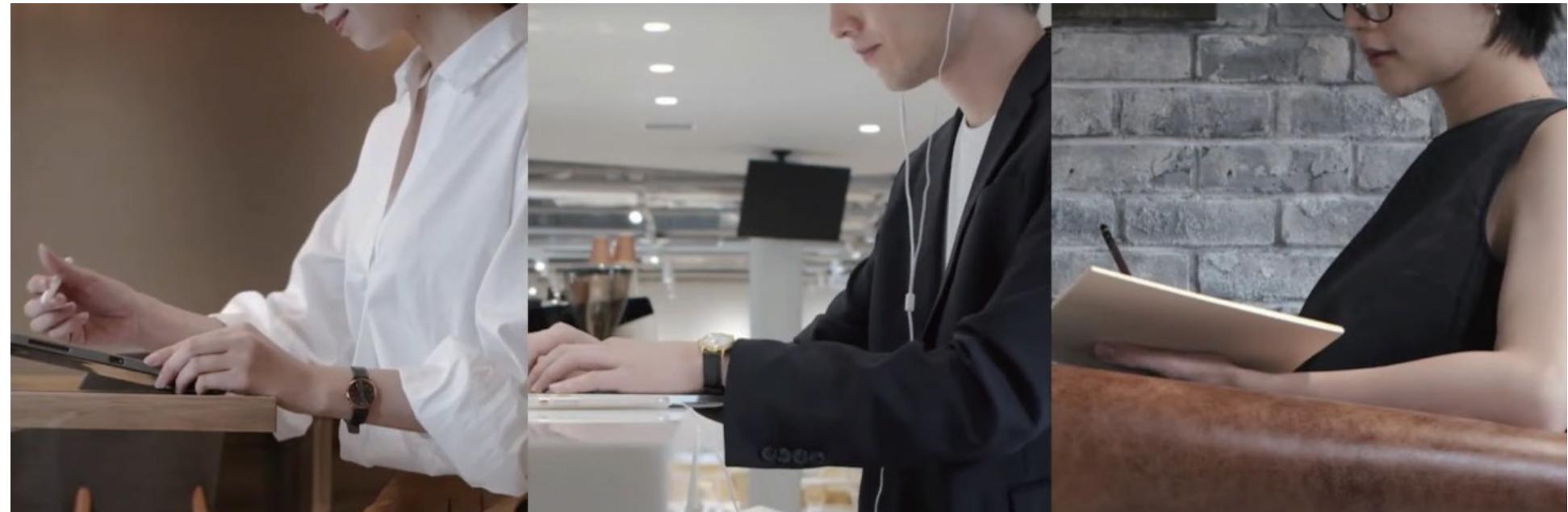
▶ どのような「はたらき方」をしたいですか？



社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

DESIGNER'S OFFICE から WORK DESIGN COMPANY へ

ビジュアルデザインから「はたらく」のデザインへ



社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

WORK DESIGN

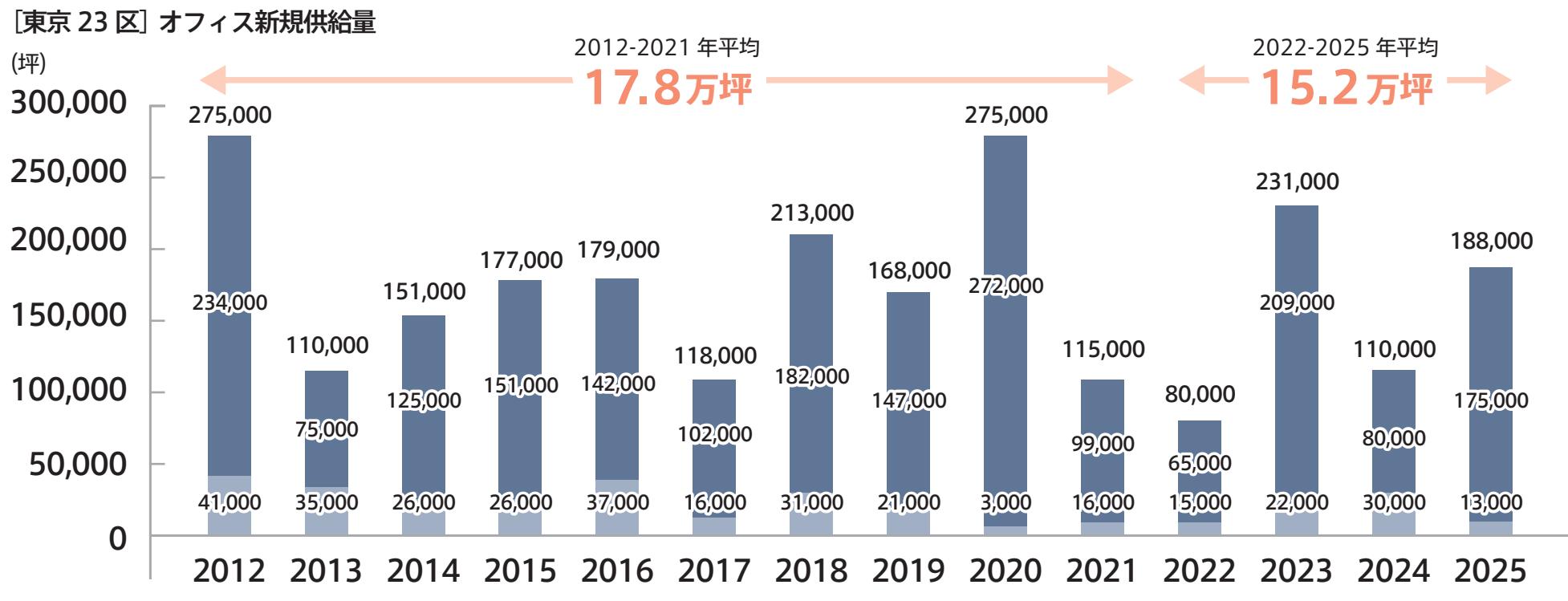
「はたらく」に関する企業の課題を一気通貫でサポートし、多様化する「はたらく」の定義を企業ごとにデザイン。



社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

オフィスビルの供給状況

2023年のオフィス新規供給量(東京23区)は2022年に比べ大きく増加見込み。企業が希望する場所・広さを選択しやすい状況である一方、社員数と広さが単純に比例しなくなった今、選択の条件が複雑化することが予想される。



出典：「オフィス新規供給量 2022」(ザイマックス不動産総合研究所)を基にVISにて作成

社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

コロナ禍を経て、オフィスのあり方、はたらき方が変化

テレワーク・オンラインミーティングの増加等、これまでのオフィスに対する考え方、目的が大きく変化。ヴィジュアルデザインに加えはたらき方をデザインすることが求められている。オフィスの適正化を図りながら、社員満足度向上を目指す企業が増加している。

現在のオフィスの課題	今後のオフィスに求めること	オフィスや働き方を見直した理由
出社 / テレワークの両立とバランス 55.6%	会うことで生まれる コミュニティへの参加意識や つながりを生む場 67.1%	社員の満足度向上のため 50.5%
オンライン会議への対応 (スペース、音の問題) 35.6%	多様な人が集まることで 生まれるイノベーションの ための場 41.2%	オフィスの適正化 (テレワーク対応)のため 47.1%
テレワークによる社員の ワークエンゲージメント低下 34.7%	人材育成のための場 37.9%	業務の効率化のため 37.6%

アンケート「緊急事態宣言解除後進んだテレワークの実態とコロナ時代のオフィスのありかたについて」
2020年8月実施より n=340

お客様アンケート 2022年3月実施より n=85

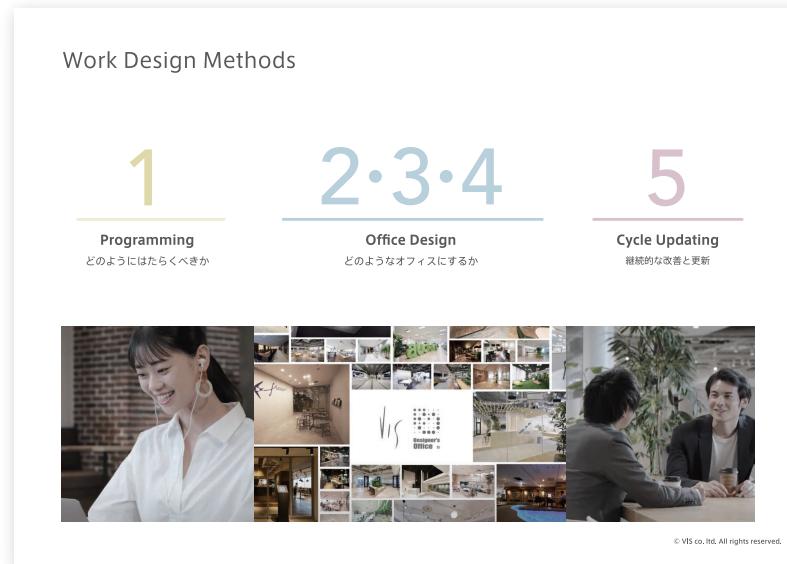
社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

ワークデザインのプロセスを定義し、独自性を確立

社会のニーズ、市場環境を鑑みると、これまで以上にデータに基づいたオフィス設計やオフィス入居後の継続的な改善が求められている。

▶ クライアントに対し、「はたらく」をデザインすることのプロセスを「WORK DESIGN METHODS」として定義。その重要性を示唆しながら、ヴィスの独自性を確立させる。

どのようにはたらくべきか ▶ どのようなオフィスにするか ▶ 継続的な改善と更新



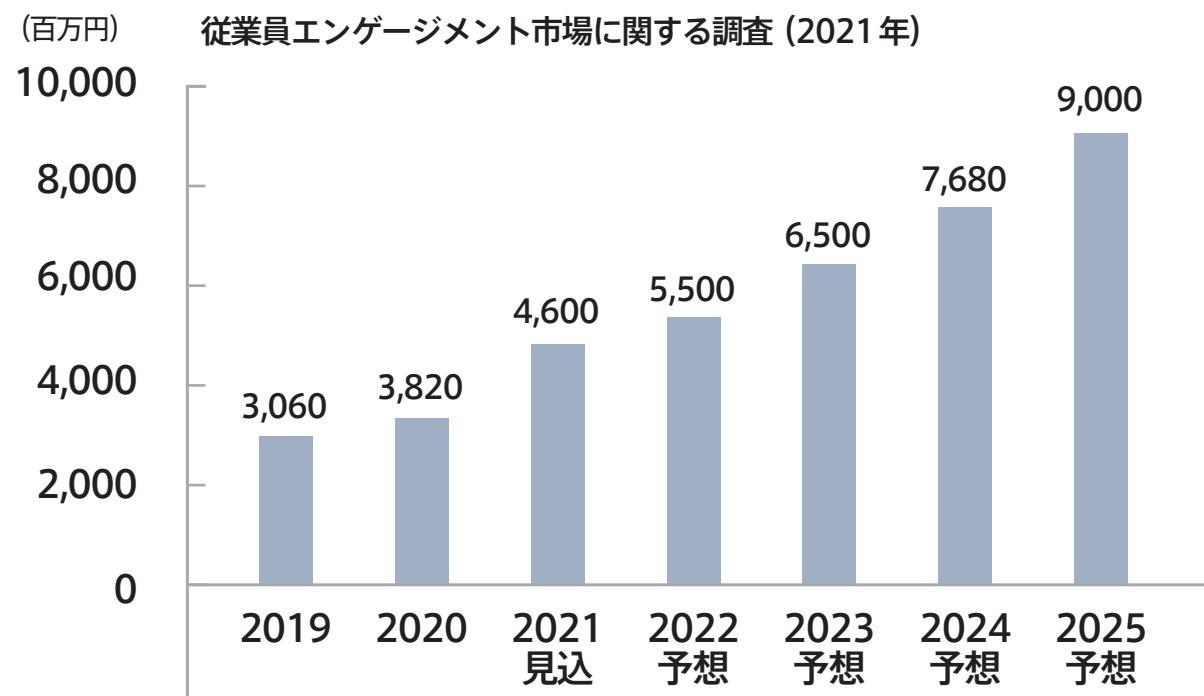
TOPICS

- 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からの
ビジネス領域の拡大
- コンサルティング領域の拡大
- ワークスタイリング領域の拡大
- マーケティングの強化
- 人材の採用・育成

コンサルティング領域の拡大①

エンゲージメント市場の拡大と当社ビジネスとのシナジー

コロナ禍でテレワークが浸透したことで社員のエンゲージメント低下が課題となり、企業が社員のエンゲージメントを把握し、改善することの必要性が高まった。2021年4月にリリースした組織改善サーベイ「ココエル」はこの課題に対応することができ、必要性が増すことが予想される。



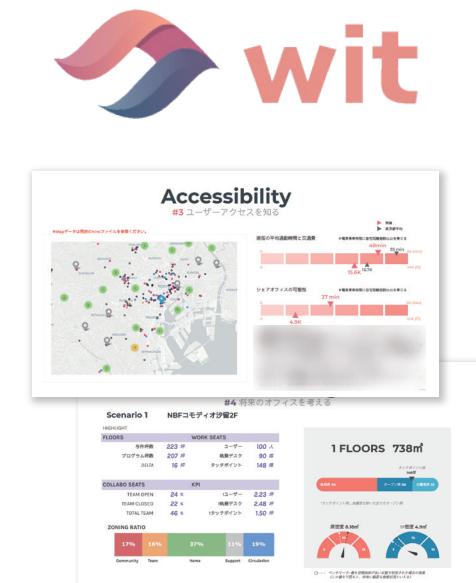
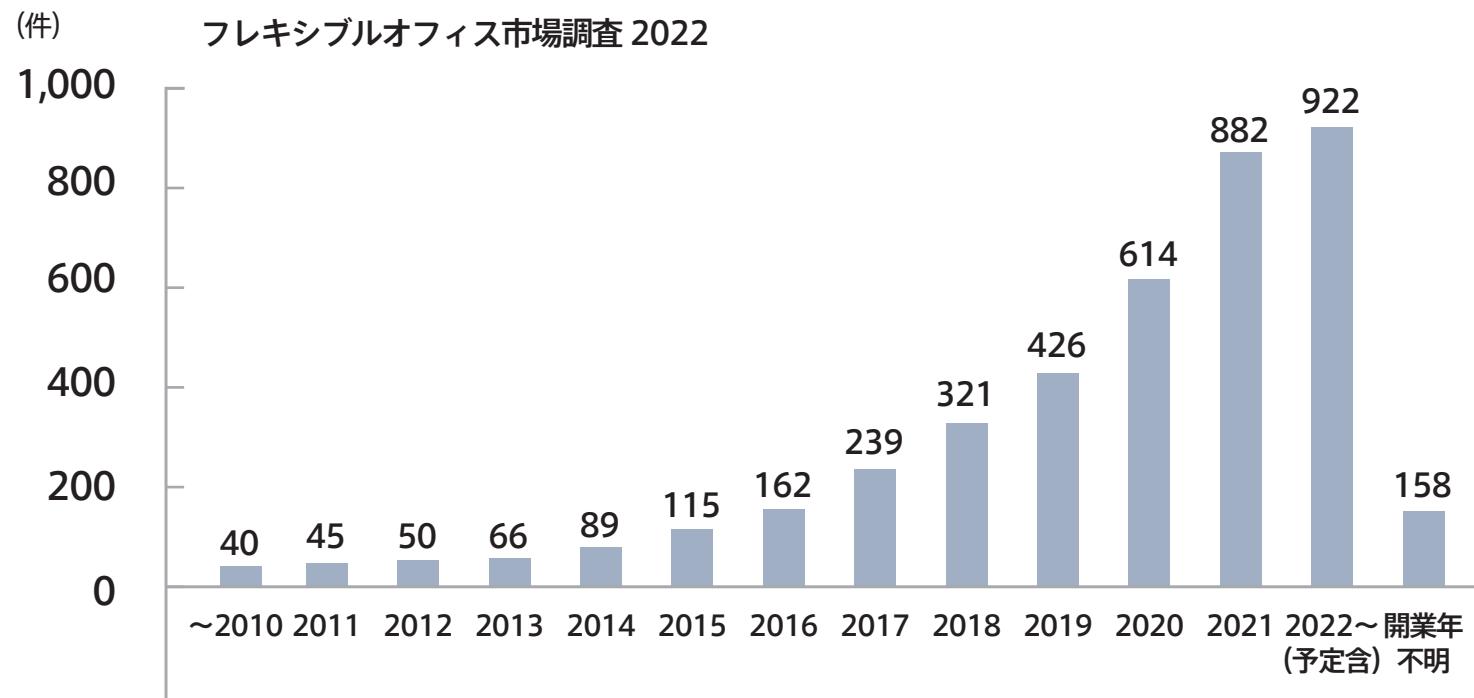
※クラウドサービス提供事業者売上高ベース ※2021年見込値、2022年以降は予測値

出典：株式会社矢野経済研究所「従業員エンゲージメント市場に関する調査 (2021年)」(2021年7月15日発表)

コンサルティング領域の拡大②

フレキシブルオフィス市場の拡大とワークプログラミングの重要性

コロナ禍でテレワークが浸透し、シェアオフィス（フレキシブルオフィス）の件数も増加。自社オフィスの適切なエリア、広さ、機能を検証した上で、シェアオフィス活用も考慮したはたらく場の構築「ワークプログラミング」の重要性が高まっている。



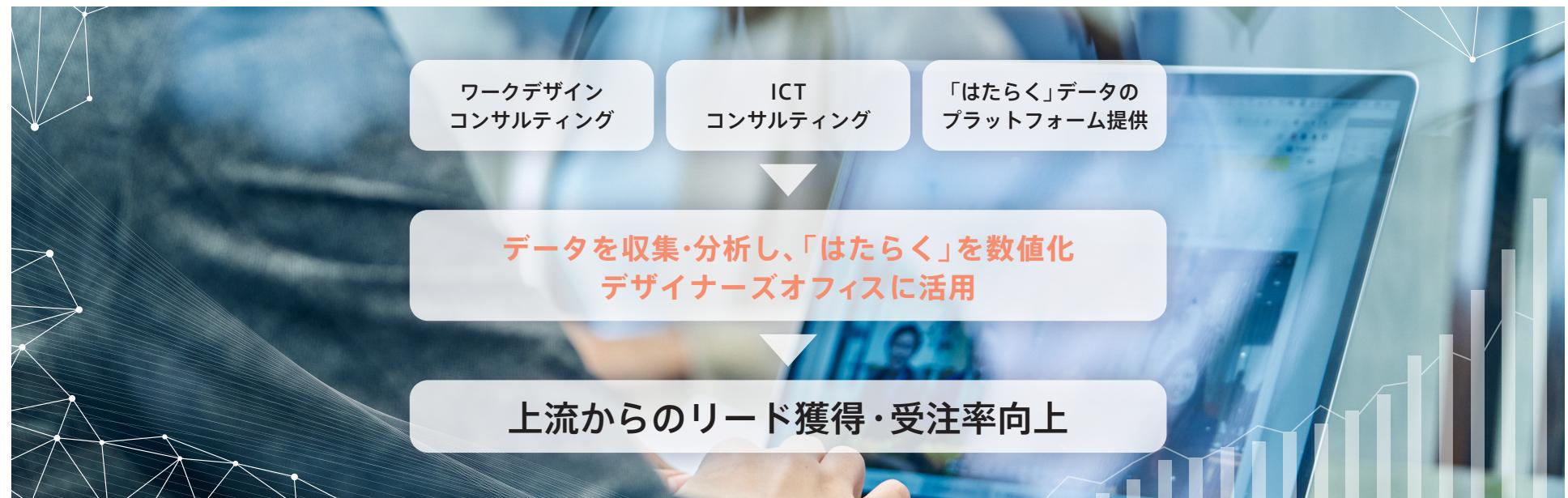
※すでに閉鎖済みの拠点は除く

出典：ザイマックス不動産総合研究所 フレキシブルオフィス市場調査 2022 2022.02.25

コンサルティング領域の拡大③

100%子会社の設立

2022年4月、コンサルティング業務及びワークデザインプラットフォーム開発を専業とする株式会社ワークデザインテクノロジーズを設立。ヴィスの提供するワークデザイン・オフィスデザインの効果をさらに高め、ヴィスグループの更なる拡大・発展を目指す。



TOPICS

- 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からの
ビジネス領域の拡大
- コンサルティング領域の拡大
- ワークスタイリング領域の拡大
- マーケティングの強化
- 人材の採用・育成

ワークスタイリング領域の拡大①

「The Place」のエリア拡大

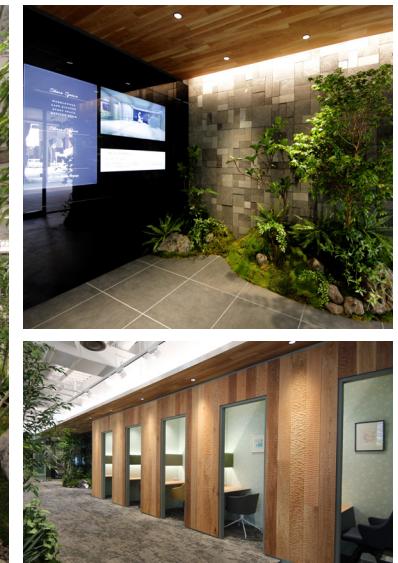
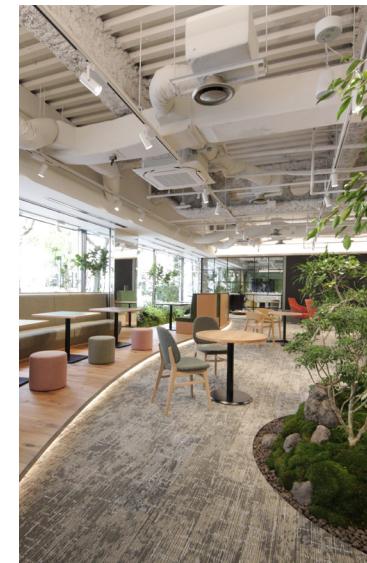
2021年1月竣工のThe Placeは現在満床となった。また2022年5月、名古屋に自社オフィスと併設するかたちで、シェアオフィス運営を行うThe Place Nagoyaを開設。



大阪



名古屋



ワークスタイル領域の拡大②

大手デベロッパーとの連携強化

大手デベロッパーが新しく建設するオフィスビルの共用スペースやマンション共用部のコワーキングスペースを設計・デザイン。テレワークやリモートワークにも対応できるはたらく場づくりとして新たな付加価値を提供。

BPR レジデンス大阪本町 Q

コワーキングラウンジ
「SYNTH ビジネスセンターサテライト本町」



事業主：東急不動産株式会社
マンション内運営・管理：株式会社 SYNTH 設計・デザイン：株式会社ヴィス

Vianode SHIN-OOSAKA

1階ビジネスラウンジ／3階シェアオフィス



事業主：大和ハウスリアルティマネジメント株式会社
企画・運営代行：Reqree 株式会社 設計・デザイン：株式会社ヴィス

TOPICS

- 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からの
ビジネス領域の拡大
- コンサルティング領域の拡大
- ワークスタイリング領域の拡大
- マーケティングの強化
- 人材の採用・育成

マーケティングの強化

マーケティング戦略のさらなる強化

「はらく」ことへの関心の高まりから、新たな働き方や働く場所に関する情報発信を強化。展示会出展、オンラインセミナー開催やWEBマーケティングを通した新規顧客獲得を推進。2021年9月にオウンドメディア「WORK DESIGN JOURNAL」をリリースし、「はらく」のトレンド情報を発信している。



The screenshot shows the homepage of the 'WORK DESIGN JOURNAL' website. The header features the site's name and a search bar. Below the header, there are three articles with images: 'オフィスデザイン' (Office Design) featuring a woman working at a desk; 'オフィスの便利な設備24選！' (24 Convenient Office Equipment Options!) featuring two people working at desks; and '「通路幅」は快適なオフィスのポイント！' (The 'Passageway Width' is a key point for a comfortable office!). At the bottom, there is a section titled 'Latest Posts' with a thumbnail image of an office interior.

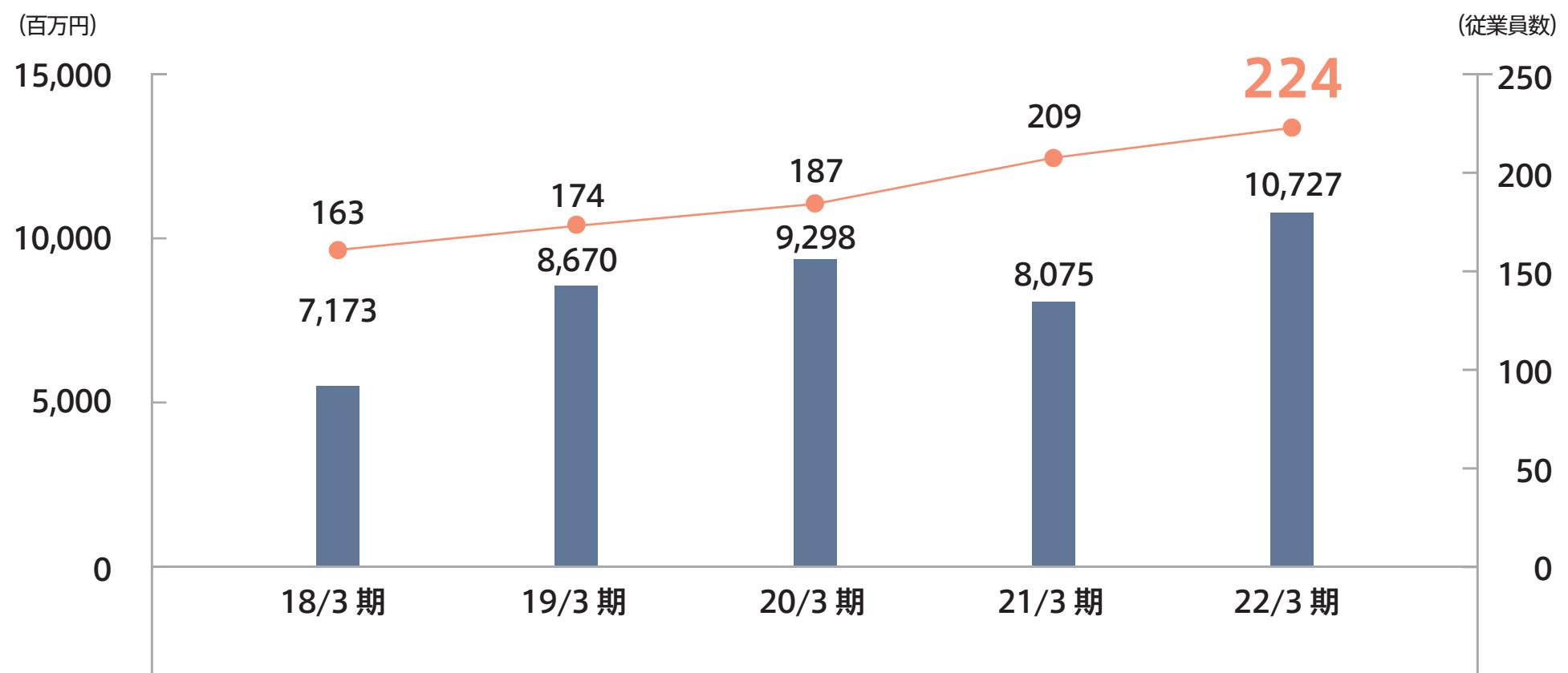
TOPICS

- 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からの
ビジネス領域の拡大
- コンサルティング領域の拡大
- ワークスタイリング領域の拡大
- マーケティングの強化
- 人材の採用・育成

人材の採用・育成

人員の伸びと売上高が比例

人員が成長ドライバーと捉え、新卒採用からの人材育成に加え、専門性の高いプロフェッショナル人材の採用を継続して行う。



人材の採用・育成

人材育成のための研修・教育制度

育成プログラムとして

- ・新卒メンバーが毎日、代表、役員と対話する『ひよこミーティング』
 - ・キャリア入社3か月目まで毎日、代表と対話する『にわとりミーティング』
 - ・マネジメント層を対象としたオフサイトミーティング
 - ・メンターとの日常OJT、相談相手となる『ニコイチ』制度
- など、同じベクトルを持ったメンバーを育成するための場と時間をつくっている。



2030年に向けて

2030年 売上高 250 億円

- CONSULTING からの売上拡大と既存事業とのシナジー
- WORK STYLING からの売上拡大
- BRANDING 領域の売上拡大



04

2023年3月期連結業績予想

FY2022 OUTLOOK

2023年3月期連結業績予想

	22/3期 実績(単体)	23/3期 予想(連結)	(百万円) 【参考】 前年同期比
売上高	10,727	11,750	109.5%
売上総利益	2,850	3,367	118.1%
営業利益	1,008	1,152	114.3%
経常利益	1,012	1,144	113.1%
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	687	750	109.3%
EPS(円)	84.09	91.53	108.8%
1株当たり配当(円)	17	19	111.8%

※(注) 2022年4月1日の株式会社ワークデザインテクノロジーズ設立に伴い、2023年3月期より連結決算へ移行いたします。

05

參考資料

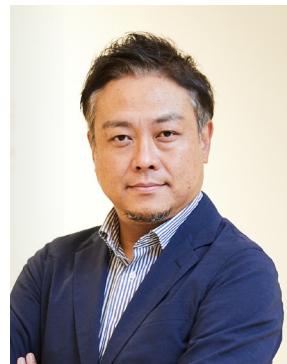
APPENDIX

役員紹介



代表取締役
中村 勇人

1960 年、大阪府生まれ。大手ディスプレイ・商業空間デザイン会社を経て、1998 年ヴィス創業。2004 年からデザイナーズオフィス事業をスタート。オフィスデザインから、WEB サイト、パンフレット・ロゴ等の制作まで、一貫したデザインをクライアントに提供する。2020 年、東証マザーズ上場。2021 年、東証 2 部指定。2021 年 1 月、大阪・心斎橋にコワーキングスペースやシェアオフィスなどを備えた多様な働き方ができるオフィスビル「The Place」をオープン。



常務取締役
デザイナーズオフィス
事業本部 本部長
金谷 智浩



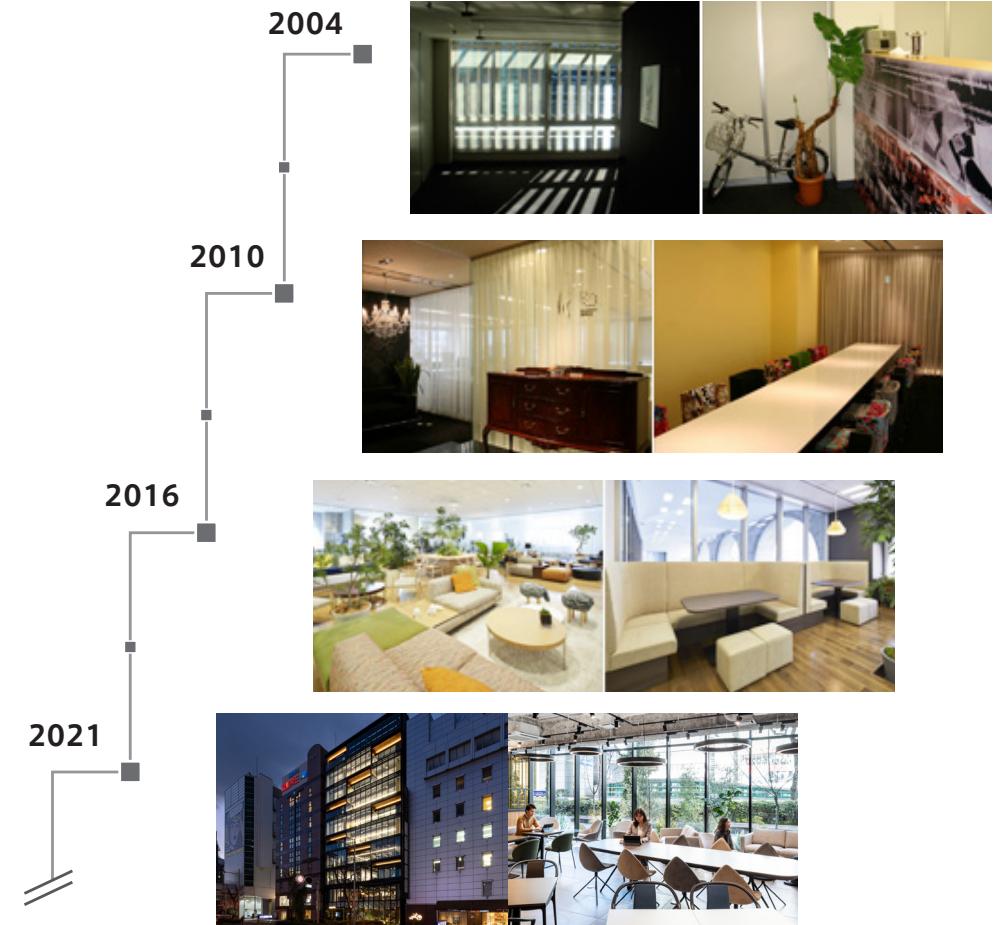
常務取締役
クリエイティブ事業本部
本部長
大滝 仁実



取締役
管理本部 本部長
矢原 裕一郎

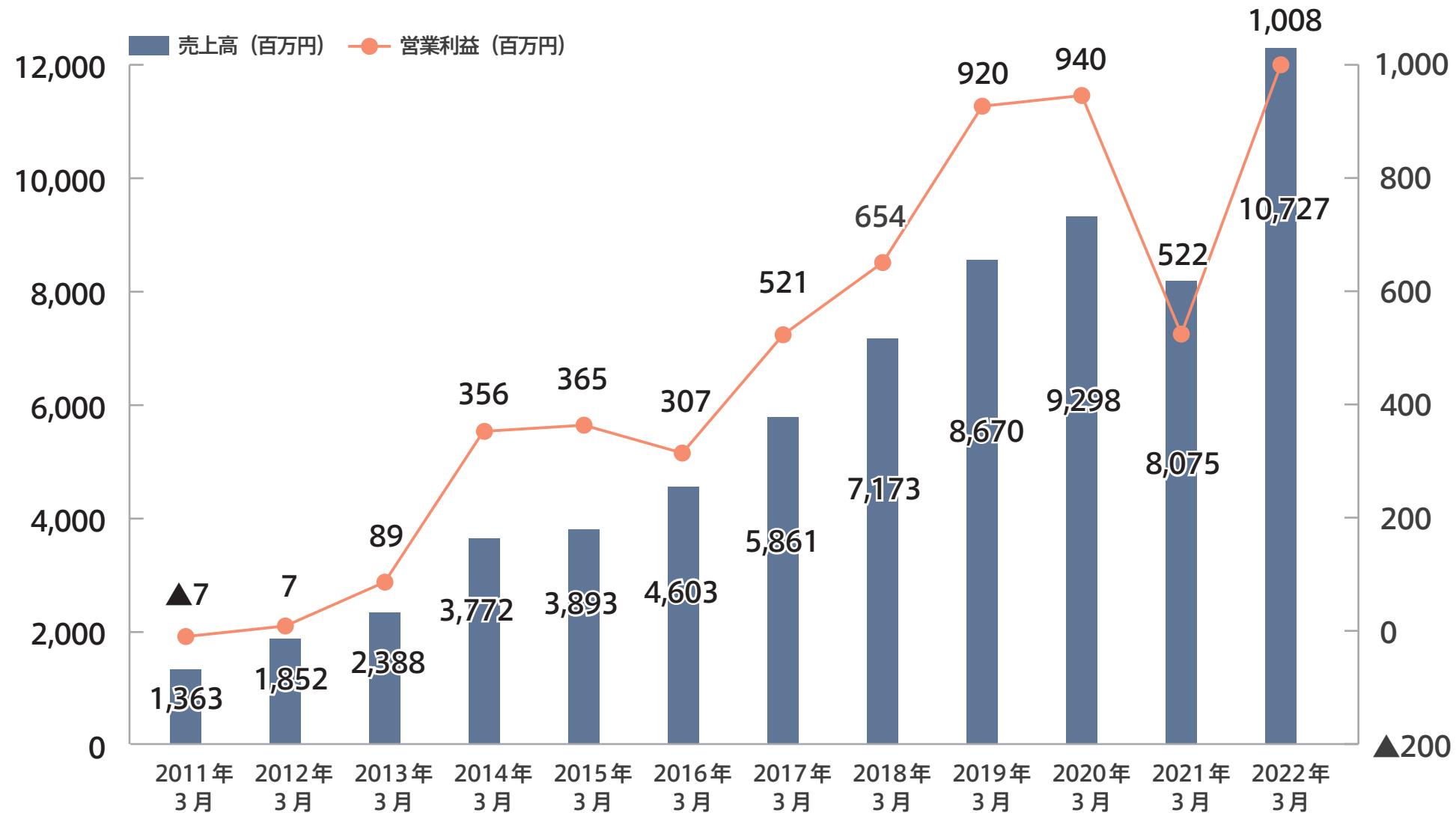
デザイナーズオフィス業界のリーディングカンパニー

1998.4	大阪市西区にて設立
2004.1	主たる事業目的をデザイナーズオフィス 事業に変更
2004.9	東京オフィス新設
2006.3	新卒採用開始
2008.4	クレド作成
2008.8	名古屋オフィス新設
2008.8	日経ニューオフィス賞 初受賞
2011.6	デザイナーズオフィス累計受注件数 1,000 件達成
2014.3	デザイナーズオフィス累計受注件数 2,000 件達成
2016.3	デザイナーズオフィス累計受注件数 3,000 件達成
2017.6	デザイナーズオフィス累計受注件数 4,000 件達成
2018.12	デザイナーズオフィス累計受注件数 5,000 件達成
2020.3	東京証券取引所 マザーズ市場上場
2020.4	デザイナーズオフィス累計受注件数 6,000 件達成
2021.1	VISビル「The Place」開設
2021.3	東京証券取引所 市場第二部へ市場変更
2022.4	東京証券取引所 スタンダード市場へ移行
2022.4	(株)ワークデザインテクノロジーズ設立
2022.5	「The Place Nagoya」開設



主要業績推移

過去 10 期売上高・営業利益推移



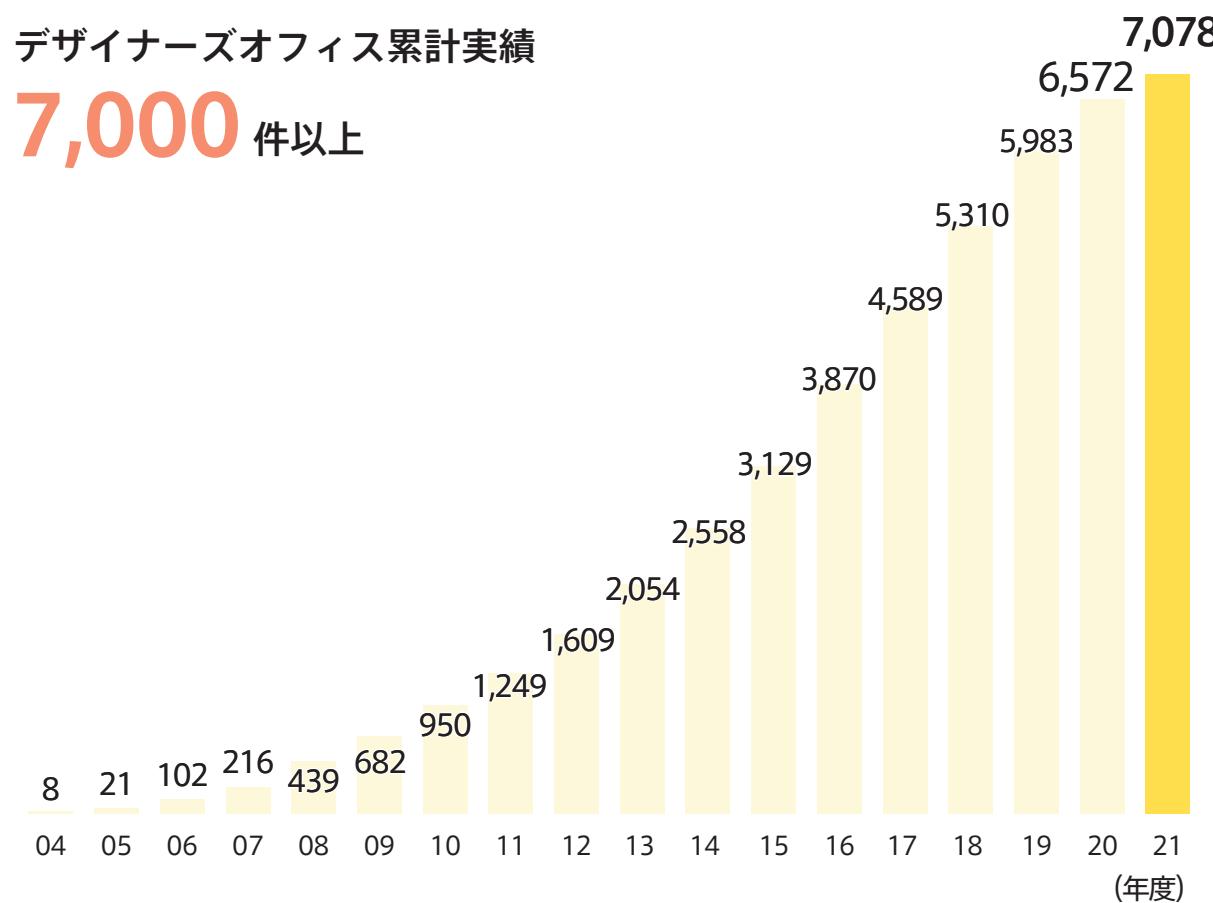
実績件数／有資格者数

増え続ける実績と専門性の向上

デザイナーズオフィス累計実績 7,000 件以上案件の蓄積が新たな案件獲得へのアドバンテージに。高品質なサービス提供を支える有資格者の採用、資格取得を支援。

デザイナーズオフィス累計実績

7,000 件以上



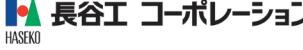
有資格者数 のべ **51** 名

一級建築士	5名
二級建築士	6名
1級建築施工管理技士	3名
2級建築施工管理技士	4名
第二種電気工事士	2名
宅地建物取引士	5名
ファシリティマネジャー	13名
インテリアコーディネーター	10名
インテリアプランナー	1名

2022年3月末現在

デザイナーズオフィスの主な実績

VIS

上場企業	東証 プライム	 アース製薬株式会社    
	東証 グロース	               
大手グループ企業 高成長企業		    

受賞歴

VIS

日経ニューオフィス賞 27 件
日本空間デザイン賞 4 件 ➤ 計 31 件



2021 日経ニューオフィス賞
東北ニューオフィス推進賞 <東北経済産業局長賞>
税理士法人あさひ会計



2021 日経ニューオフィス賞
中部ニューオフィス奨励賞
株式会社テスク



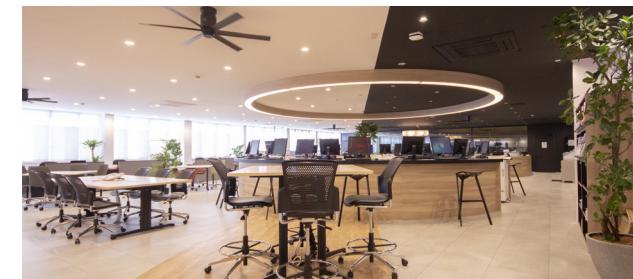
2021 日経ニューオフィス賞
近畿ニューオフィス奨励賞
カルテック株式会社



2020 日経ニューオフィス賞
中部ニューオフィス奨励賞
株式会社プラス



2020 日経ニューオフィス賞
中部ニューオフィス奨励賞
株式会社セントラルヨシダ

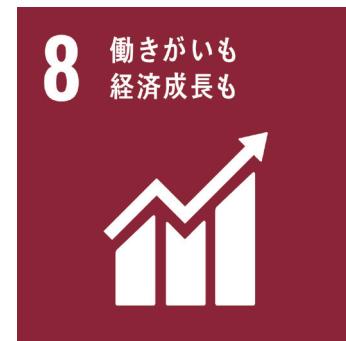


2019 日経ニューオフィス賞
中部ニューオフィス推進賞
株式会社マルト水谷

ワークエンゲージメント向上への貢献・地球環境面への貢献

持続可能な世界の実現に向け国連が定めた 2030 年までの国際的な目標である SDGS (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) の理念に共感し、事業活動と社会貢献活動を通じて目標達成に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



注意事項

- 本資料は、情報提供のみを目的として作成されるものであり、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買い付けの申込みの勧誘（以下、「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものではありません。
- 本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予測とは異なる結果となる可能性があります。
また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。
- 本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない財務諸表又は計算書類に基づく財務情報が含まれています。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

お問合せ先

株式会社ヴィス

管理本部 I R 担当

MAIL : ir@vis-produce.com

URL : <https://vis-produce.com/>